

## お茶大での半年

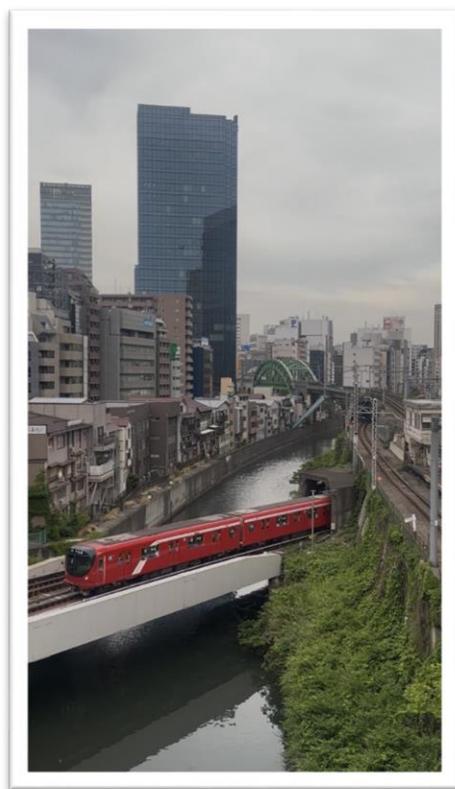
慶北大学校

チョイ・スヨン

学籍番号 k2590002

日本で半年という時間は本当にあっという間過ぎていきました。人生で初めて外国に来て生活することは、最初は慣れずに大変でしたが、周りの方々のおかげで上手く適応することができました。半年という短い時間の間、お茶の水大学で貴重な経験をし、多くの人々と出会うことができたと思います。

お茶の水大学の授業はカリキュラムがとても体系的だったので、満足でした。日本語の授業も自分のレベルに合わせて受講することができ、様々な国から来た友人たちと一緒に学業に励むことができました。上級漢字と日本事情演習2を担当された加藤先生、中上級文法を担当されたビンデリア先生、日本語演習2を担当されたイ・ジウォン先生にこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。



日本語の授業だけでなく、専門科目の先生方にも多くのご助力をいただきました。分からないことがあった際には小口先生や五十嵐先生が親切に教えてくださいました。また、韓国に帰国後、どの分野で働くべきか悩んでいた時間に北村先生の情報処理演習の授業を受けたことでデータ分野に進むことを決めることができました。そして、いつも留学生のことを気にかけてくださった指導教員の長尾先生にも心から感謝の意を表したいです。

学業だけでなく、日本の様々な場所を訪れながら文化を体験することもできました。5月初旬のゴールデンウィークを活用していった関西旅行では関東地方とは異なる雰囲気を感じることができ、素敵な旅行になりました。また、交換留学生の友人たちと一緒に山梨、横浜、長野など普通の旅行ではなかなか行くことのできない地域を巡ることができてかけがえのない思い出となりました。

韓国では女子大学に通ったことも、実家を離れて生活したこともなかったため、お茶の水大学での生活は初めての経験が本当に多かったです。日本での交換留學生生活は学問的な面だけでなく、人生においても大きな糧となる貴重な経験や考えを得られる時間でした。

最後に拙い日本語にもかかわらず良き友人でいてくれたはるなさんとななみさん、そして共に多くの時間を過ごした韓国人留学生の友人たちにも心から感謝の気持ちを伝えたいです。

